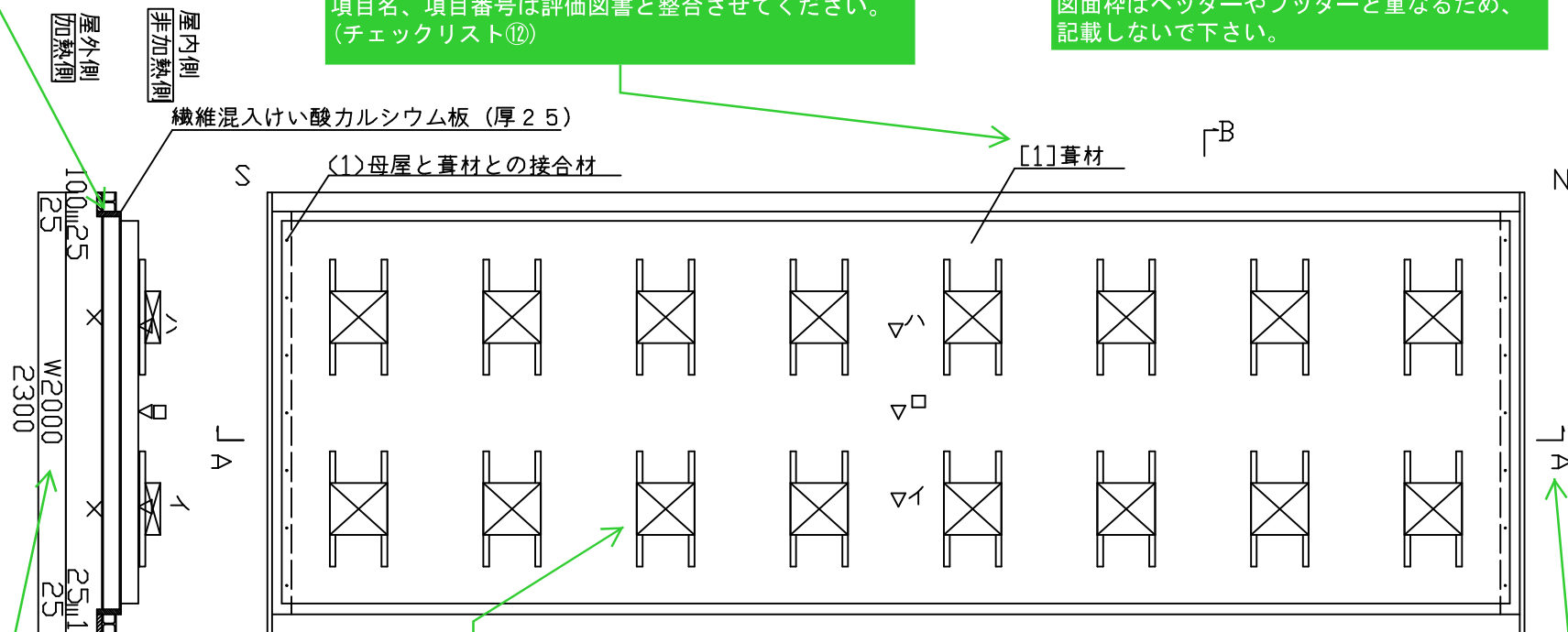


葺き材の変形（たわみ）を妨げないようにクリアランスを設けて下さい。

項目名、項目番号は評価図書と整合させてください。
(チェックリスト⑫)

図面枠はヘッダーやフッターと重なるため、
記載しないで下さい。

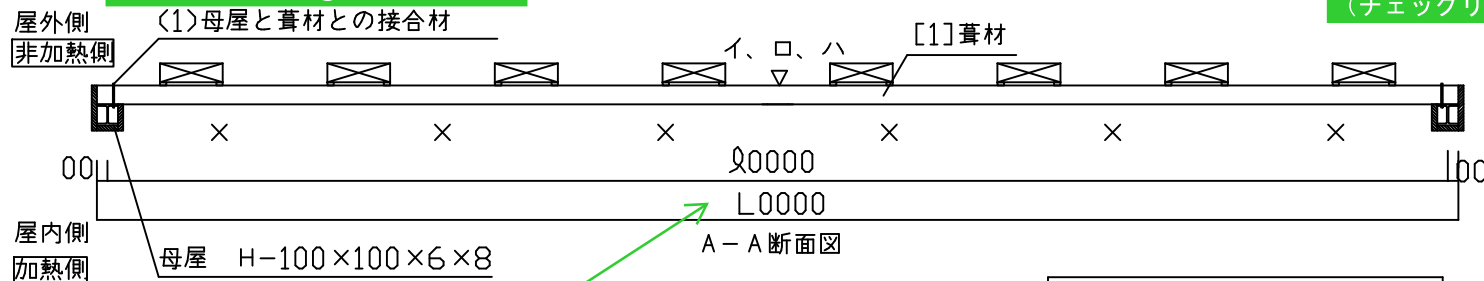


おもりの位置を図示してください。
(チェックリスト①)

平面図 (屋外側、非加熱面)

断面の向きを記載して下さい。
(チェックリスト⑤)

B-B断面図



母屋間隔 (ℓ)、試験体外寸 (W,L) を記載してください。
(チェックリスト②)
Wについてはフレームを除く寸法になります。

計測点を図示し、凡例を載せてください。
(チェックリスト⑥⑦)

凡例
× : 加熱温度測定位置 (12箇所)
▽ : たわみ量測定位置 (イ、ロ、ハ)
☒ : 637Nおもり設置位置 (16箇所)

図-1 試験体図 (寸法単位 : mm)

図のタイトルを記載してください。

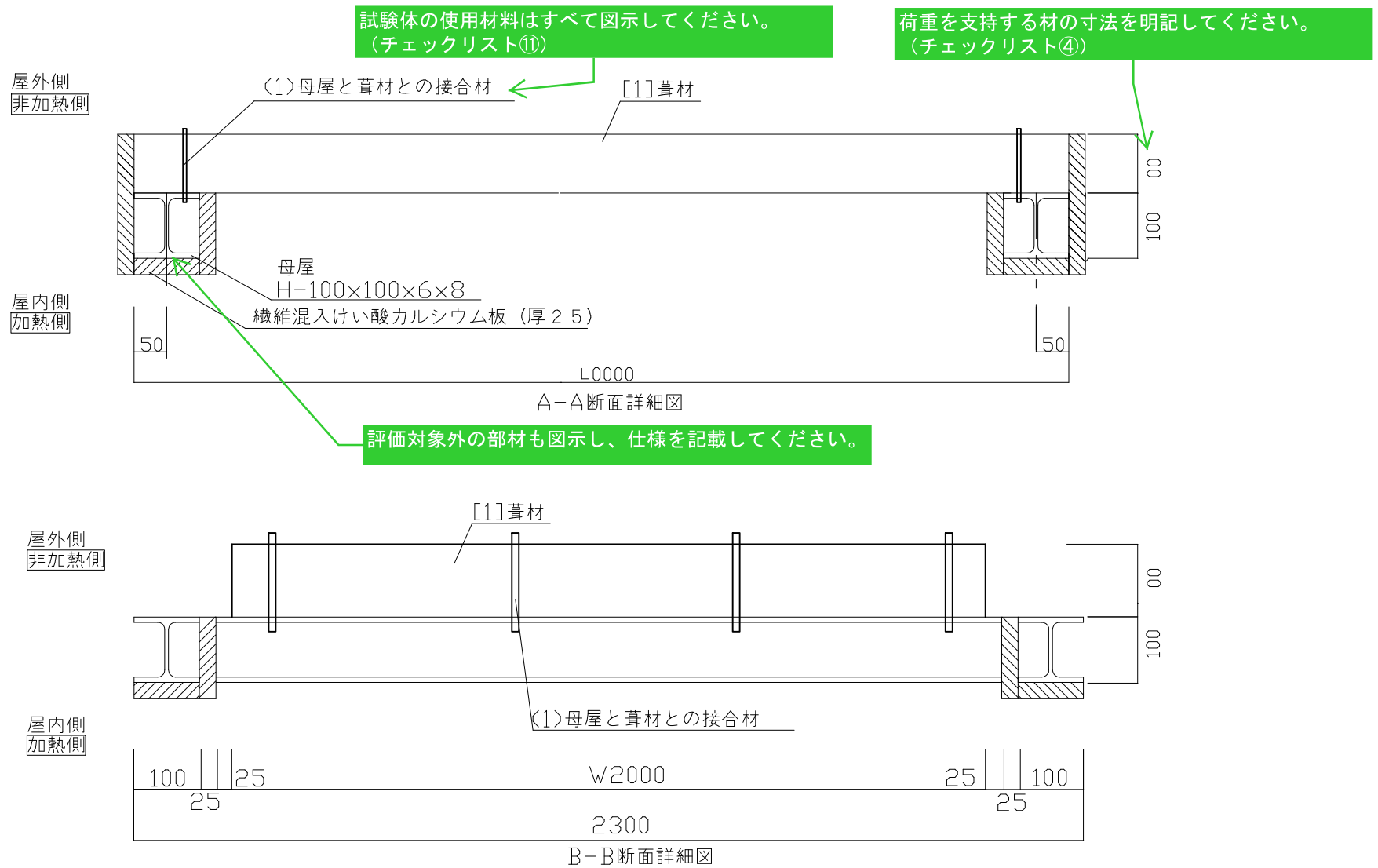


図-2 試験体図 (寸法単位 : mm)

葺材の形状、目地形状、金物形状など、別途詳細図が必要な場合は適宜図面を追加して下さい。
(チェックリスト⑧)。

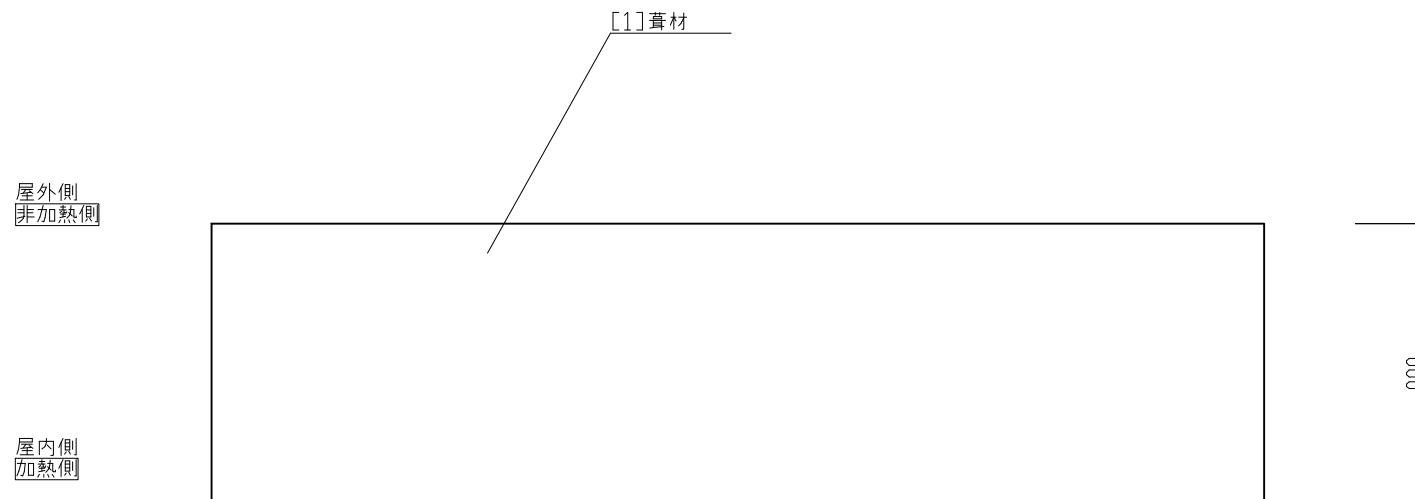


図-3 試験体図（寸法単位：mm）

試験体図面作成チェックリスト(申請者様用)

試験体図作成時に、以下の内容をチェックしてください。受付から申請までの手続きをスムーズに進めるため、ご協力をお願いします。
当所でのチェックは3回に分かれます。その都度修正をご依頼させていただくことがありますので、予めご了承ください。
(受付時、評価委員会審議前、大臣申請前)

		チェック項目	申請者様 チェック欄	メモ欄	GBRC チェックの タイミング
図面	平面図・ 断面図	① おもりを図示してください。			受付前
		② 母屋間隔、試験体の外寸を記載してください。			受付前
		③ 平面図、各方向の断面図を図示してください。			受付前
		④ 荷重を支持する材の寸法を明記してください。			受付前
		⑤ 断面図の向き(切断箇所を示す矢印の向き)を正しく記載してください。			評価委員会 審議前
		⑥ 加熱温度測定位置、たわみ量測定位置を記入してください。 (具体的な位置は当所担当職員とお打合せください)			評価委員会 審議前
		⑦ 凡例を記入してください。			評価委員会 審議前
	全 体	⑧ 必要に応じて詳細図等を追加して下さい。 (断面、目地、金物詳細図など)			受付前
		⑨ 寸法線を記入してください。			受付前
		⑩ 寸法はすべて限定してください。 (「以上」「以下」など範囲表記としないでください。)			受付前
		⑪ 試験体の使用材料は全て図示して下さい。			国交省 申請前
		⑫ 項目名(材料名)および項目番号は評価図書と整合させてください。			国交省 申請前
		⑬ A4で出力したときに適切な文字サイズにしてください。			国交省 申請前
	その他	⑭ 鋼材・内部温度を測定する場合、測定位置が図示された参考図を試験体図とは別に作成して下さい。			受付前